

動労千葉を支援する会 ニュース

2025.7.20
407

動労千葉を支援する会事務局

千葉市中央区要町2-18 DC会館

Tel Fx 043-202-7820

メールアドレス info@odoro-shien.site

〒口座番号 0015013192036

国鉄1047名解雇撤回！ 9月19日東京高裁に大結集を！

「警備法廷 弾劾！」

結審策動を粉碎しよう！

国鉄1047名解雇撤回をめぐる裁判闘争で東京高裁は第1回期日を9月19日としてきた。しかも、法廷は「警備法廷」を指定している。組合から大法廷での開催を要求していたにも関わらずだ。始まる前から弾圧体制を敷くなど、断じて許すことはできない！

これは明らかに「1回結審」を狙ったものだ。闘いは重大な決戦を迎えている。「警備法廷」・結審策動を粉碎する大結集で東京高裁を包囲し、裁判闘争を闘い抜こう！

暴かれたJRの偽証

JRは解雇撤回をめぐる裁判において、「採用候補者の名簿作成には一切関わっていない」「JRは作られた名簿に



◆国鉄1047名解雇撤回裁判闘争 控訴審第1回期日

日時:9月19日(金)15時30分～
場所:東京高裁429号法廷

◆東京高裁包囲デモ
集合:13時30分 日比谷公園霞門

◆裁判後、報告集会を予定

載った人を一切選別せずに採用しただけ」「名簿に載っていない人については認識することもできない」「仮に選別過程で差別があったとしても、JRは一切関わっていないのだから、責任はない」と繰り返し主張してきた。

しかし、われわれの闘いの中で、解雇直前まで勤務千葉組合員も含めて採用名簿に載っていたこと、直前になって不採用基準が作られ組合員が排除・解雇されたこと、この不採用基準の策定を指示・決定したのがJR自身であることを突き止めた。ついに隠された真実を暴き出したのだ。そして、15年6月、この不採用基準の策定そのものが不当労働行為であることが最高裁で確定した。

だが、JRは団交にすら応じず、責任から逃れようとした。これに対して、裁判のやり直しを求めて18年5月に開始したのが現在に至る裁判・労働委員会闘争だ。

「時効で免罪 許すな！」

すでにJRの30年以上にわたる主張がすべて偽証、大ウソであることが明らかになっている。JRは自分自身が

直接名簿からの選別・排除を指示・決定した「不当労働行為の犯人」だと百も承知でウソをつき続け、真実を隠し続けてきたのだ。それを「時効だ」といつて免罪するのは「裁判所による犯罪行為」だ。

真実を否定することはできない

東京地裁は、われわれの突き止めた真実を否定することはできず、判決文には「仮に」と前置きした上で、「JRが採用義務を負うことがあるとしても」とまで書かざるをえなかった。しかし、それを「時効」の一点を口実にひっくり返している。真実を見据えることもせず、ただただ「JR・政府を擁護する」という結論ありきの判決だ。

東京高裁が何一つ真実を調べることせず、再びJRを免罪する判決を出すなど、許すわけにはいかない！

すべての真実は明らかになっている。闘いは「勝利まであと一步」だ。

今こそ国鉄1047名解雇撤回を！
東京高裁を包囲する大結集を実現し、
国鉄闘争勝利へ闘い抜こう！

久留里線廃線化を許さないで 地域公共交通会議に傍聴

君津市 今年度第 回目 地域公共交通会議 月23日 市役所 開

久留里線 地域 守 会 沿線住民内房 会 外房 会 傍聴行動行。 勤務千葉 名 傍聴 参加 交通会議、当初 傍聴 条件

「発言 拍手 場合 退場 許 条 件 付 開

会議 議題、「 久留里線(久留里く上総亀山間 代替交通

つ 。 廃線 前提 提出 資料 具体的 代替 ー、本数 料金 示

沿線住民 中、相当 不安 観光協会 地元自治体 発言

「 転換方針 一里塚 過、全 国 状況 見 自身 破産 明

幕張車両センターで労災死亡事故が発生

車両清掃中に体調不良 死亡「スキマバイト 一切の責任はJR東とCTSにある！」

幕張車両センターにおいて6月21日、外板清掃作業中に労働者が倒れて意識不明となり、救急搬送の後に24日朝に亡くなるという、あつてはならない重大な労働災害が発生した。

極限的なコストカットと人減らしの中で、無責任に仕事丸投げ、丸投げされ、その結果、取り返しがつかない事態がひきおこされたのだ。

ありえない外部委託の実態

JRとCTSは、いったいどれだけ人を減らしてきたのか！ 10年前と比べて、幕張での清掃労働者は3分の2にまで減らされている！ コロナ禍以降はグループ会社で過重なコストカットが強制され続けてきた。退職者が出ても補充しない。低賃金が原因で人が来ない。自社で必要な要員が確保できない。

い中、仕事が2度も3度も丸投げされ、取り返しのつかない事態がひきおこされたのだ。

この仕事は、①JR東がCTSに委託、②CTSが（株）秩父商會に再委託、③さらに秩父商會から（株）コンデিশニンググリーンに再々委託されていた。

しかも、亡くなった当該労働者は、短期アルバイト募集サイト（タイミー）を通じて雇用されており、この作業に入るのは初めてだった。誰も責任をとらない、ありえない外部委託の実態の中で今回の死亡事故がひきおこされた。

JR CTSによる 殺人だ

JR東日本は5月7日、「新たな組織



と働き方」と称して「現業・非現業の区別をなくす」と組織・人事賃金制度・労働条件の抜本的改悪提案を行っている。その本質は、資本にとって利益が上がるものだけを「価値がある」とし、現場で培われてきた技術や経験、現場の仕事を徹底して「価値のないもの」とみなして切り捨てていく攻撃だ。そんなことをすれば、労働者の権利や鉄道の安全は必然的に失われ、恐ろしい事態を生み出す。究極の形でそれを示したのが今回の「スキマバイトの労災死亡事故」だ。CTSの管理者さえ、外注化した業務がさらに丸投げされていたことも、スキマバイトまで使っていることも知らなかったというのだ。この信じがたい無責任体制―何重もの下請け構造とスキマバイトの労働者の犠牲、これはJR・CTSによる「殺人」だ。

そもそもこの「新たな組織と働き方」提案は、鉄道を動かす要員さえ確保できないところから出発している。業務を下に下に丸投げし、労働者を集める

ことは困難になり、スキマバイトの利用に行き着いたのだ。そして、JR・グループ会社の労働者全体を「スキマバイト」のように扱い、現場の命を犠牲にして金儲けをしようというのが「現業廃止」であり、職名廃止・融合化攻撃であり、全面外注化攻撃だ。どこまでも許しがたい！

要員確保なくして

熱中症対策は空論

車両センター構内は、温暖化で限界を超える労働現場となっている。炎天下での車両清掃や車両点検、サウナのような交検庫内での検査修繕作業、広大な車両センター構内に次々と入区し、転線時間や出区時間に迫られながら清掃や検修が行われている。

必要なことは、何よりも要員増だ。こまめな休憩が取れる。体調が悪化したら誰に気兼ねもなく作業を抜けられる。暑さのピークの時間帯には作業を止める。それができる要員を確保することなしに、あらゆる熱中症対策など空論だ。それができないように金銭面でグループ会社を締め上げ、コストカ

ットを強制し続けているのがJR東日本だ。

幕張車両センターでは2017年8月にも、整備作業中に倒れ亡くなっている。また、今年6月8日には、小山新幹線車両センター構内での清掃作業中にJR東日本テクノハートの労働者が倒れ、亡くなっている。グループ会社における数々の労災死、この事態を目の当たりにしながら、「新たな価値創造」「限界をこえろ」とくり返し、人の命と引き換えに黒字を積み上げるJR東日本を絶対に許してはならない。

酷暑との闘いは一級の労働問題

ILOは昨年、酷暑が労働におよぼす影響について報告書を発表し、世界規模で熱ストレス（※身体が生理的障害なしに耐え得る限度を上回る暑熱）の危険にさらされる労働者が増加していることに警告を発している。2020年度には4200人の労働者が熱波で命を落としている。

酷暑との闘いは世界的に第一級の労働問題、命のかかった労働組合の正面課題となっている。

闘いなくして安全なし！

安全なくして労働なし！

かつて炭鉱労働者は、あいつぐ炭鉱での死亡事故を弾劾し、「抵抗なくして安全なし、安全なくして労働なし」のスローガンを掲げ、安全が確認されるまで坑内に降りない闘いを貫いた。しかし、1960年の三井三池争議に敗北して炭鉱労働組合がガタガタにされた。その3年後には炭塵爆発で500名もの労働者が命を奪われた。

動労千葉は、6月21日に幕張車両センターで発生した労災死亡事故に関して、CTSに緊急申し入れを行った。

安全が確保されない限り仕事は始まらない。いざとなれば仕事を止めなければならない。

JRが進める労働組合嫌悪、「労組なき社会化」攻撃、あらゆる現業部門の丸投げ外注化が、今日の信じられない鉄道事故を頻発させているのだ。職場から声を上げ、団結した力で会社に強制する以外に、安全は守れない。

下へ下へと犠牲を転嫁する業務外注化をただちに中止しろ！ 際限なき要員削減、コストカットを直ちにやめろ！

追悼 白井敏行さん

動労千葉争議団として国鉄闘争勝利の闘いの先頭に立ってきた白井敏行さん（享年81歳）が、病氣療養中のころ5月31日、ご逝去されました。

白井さんは、国鉄分割・民営化に反対して闘われた85年11月ストを千葉運転区支部副支部長として指導したことを理由に公労法によって解雇され、その後、協販部長として物販オルグで全国を飛び回り、多くの支援をつくりだし、組合を支えてくれました。

ここに謹んでご冥福をお祈りするとともに、動労千葉の団結の強化・発展のために新たな決意で闘い抜くことをお誓い申し上げます。

（日刊動労千葉6月7日9584号）



「協販部」白井さん

全国の支援する会会員から慕われていた白井さんが亡くなりました。全国物販オルグで一緒に組合まわりを行っていた会員は非常に多いのではないのでしょうか。

白井さんが、日刊動労千葉に投降した文書があります。04年9月18日付の「プロ野球ストライキによせて 選手あつての野球、労働者あつての社会」です。白井さんの人がらがにじみでる文書で

す。紹介します。

◆プロ野球ストライキによせて 選手あつての野球、労働者あつての社会

組合員 白井敏行

社会的関心を集めているプロ野球選手会のストライキについて、動労千葉の組合員として感じていることをのべます。

野球ファンではなく労働者の立場として今度のストライキを見るならば、

まさに歴史的快挙ではないかと思えます。「ストライキ」という言葉が日本社会全体に氾濫し、ストに突入するの否かに大きな関心を集めています。

「労働組合」「ストライキ」「団体交渉」「不当労働行為」という言葉が連日マスコミに登場し、ストライキという言葉の意味も知らなかった多くの若い人が、労働組合とは何か、何のためにあるのかを知ったのではないかとおもいます。

ここ10年は、ストライキというと、多くの人は「千葉動労」をイメージしました。現に選手会のストが話題になり始めた8月中旬、『週刊プレッボーイ』の記者が組合本部に来ました。「ストのエキスパートである動労千葉から、古田選手会会長にストの心構え、闘い方をアドバイスしてほしい」という取材内容です。

多くの野球ファンは、「たかが選手が」という球団オーナー側の思いついて、球団合併と一リーグ制に怒っています。しかし野球ファンでもなくても、多くの労働者は今回のストについて圧倒的に支持しています。リストラや首切り、賃下げの攻撃が吹き荒れているにも関わらず、たとえ労働組合があっても何

一つまともな抵抗もできない労働者達
は、年俸制で激しい競争社会の選手達
が、「年俸が削られるが、球界全体のた
め」と選手だけでなく球界で働く労働
者全体の問題として受け止め、労働組
合として団結し、ストを対置し闘って
いる姿に感動し、我が身に置き換えて、
拍手喝采しているのではないでしょう
か。ところで、連合や全労連は、今回
の選手会のストライキに支持の声明を
だしています。労働組合のナショナル
センターとして当然かもしれせん。
しかし多くの労働者は、「何がスト支
持だ」と思ったのでは。会社がもうけ
しているのに賃上げ要求もださない、
合併やリストラで多くの仲間が解雇さ
れても、まともな闘いも組めない。「会
社あつての労働組合」と資本の言いな
りになっているのが連合傘下の労働組
合の現状だからです。

「年金改悪にはゼネストで闘う」と
言っていた連合の笹森会長さん！選
手会スト支持」を出す前に、労働組合
の「プロ」として、まず連合がストを
やってみろ！と多くの労働者は思っ
ているのではないだろうか。

第9回内房線と地域を守る会定時総会を開催



7月6日、館山市・南総文化センター大会議室
において、内房線と地域を守る会の第9回定時総
会が50名の参加で開催された。

総会は、最初に梅沢和子代表から、「内房線と
地域を守る会も結成から9年目に入った。内房線
の利便性、安全性を確保し、地域の活性化に向け
て取り組んできた。鉄道がなくなったら人口が減
少して過疎化が進むことは廃線になった地域のほとん
どが証明している。地域
と生活を守るために鉄道を守りましょう」との訴えが行われた。

「鉄道がなくなって栄えた街はない！」

次に、桜井徹日大名誉教授から、「赤字ローカル線廃止は地域に何をもたら
すか？」と題して講演が行われた。最初に三陸鉄道の関係者が「鉄道がなくな
って栄えた街はない」と訴えたことを紹介し、「駅がない街は人口減少の速度
が速く進む」ことを明らかにした。

久留里線の会・三浦代表は「7月31日と8月5日、6日に住民説明会が行わ
れるが、当該地域以外の人には参加させないなど制限しようとしている。JRは、
久留里線を突破口にして全国のローカル線を廃線化しようと狙っている。今後
も地域住民とともに頑張っていきたい」と決意を語った。

最後に、「桜井名誉教授らが中心となり住民組織の全国的な運動体の立ち上
げが検討されている。この動きに呼応して運動を強化していく」との総会アピ
ールを確認し、第9回内房線と地域を守る会総会は成功裡に終了した。